

1 法人の概要

代表者職氏名	理事長 佐竹 敬久	所管部課名	企画振興部国際課		
所在地	秋田市中通二丁目3番8号	設立年月日	平成3年7月1日		
電話番号	018-893-5499	ウェブサイト	http://www.aiahome.or.jp		
主な出資 (出捐)者	秋田県	出資(出捐)額(千円)	750,000	出資(出捐)比率(%)	76.9%
	秋田市		32,862		3.4%
	(株)秋田銀行		25,000		2.6%
	その他24市町村、76団体		167,392		17.2%
	合計		975,254		100.0%
設立目的	県民の国際理解を深め、国際交流活動を促進することにより、様々な国籍や多様な文化的背景を持つ人々が、ともに安心して暮らし、地域の活性化を図り、多文化共生のまちづくりを推進することにより、秋田県の国際化に寄与することを目的とする。				
事業概要	1. 在外外国人のサポート、2. 国際理解の促進・人材育成、3. 国際交流・国際理解・多文化共生等に関する団体の支援及び団体への活動機会の提供、4. 国際化に関する情報提供、5. 海外諸国との友好交流				
事業に関連する法令、県計画	あきた国際化推進プログラム、第2期ふるさと秋田元気創造プラン				

2 平成29年度事業実績

外国人相談センター及び地域外国人相談員による相談対応のほか、平成28年度に大規模災害発生時の「災害多言語支援センター」設置に係る協定を秋田県と締結したことを受け、各市町村の災害担当者向けに災害時の外国人支援に関する情報提供を行ったほか、一般県民を対象とした異文化理解講座や日本語学習支援者を対象とした研修会を実施し、県民の国際理解を深めるとともに多文化共生社会を推進した。また、外国人の支援や外国人との交流をサポートする人材を「AIAサポーター」として登録し、通訳・翻訳・文化紹介の依頼に対応した。

<事業目標>

項目	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
啓発講座等受講者数(人)	目標	5,400	5,600	5,800	6,000
	実績	6,874	6,783	6,492	—
AIAサポーター登録者数(人)	目標	70	73	80	80
	実績	67	85	102	—
顧客満足度指数	目標	90	90	90	90
	実績	96	92	93	—

3 組織

①役員数(H30.7.1現在)

(単位:人)

区分	理事		監事		評議員		役員報酬 (H29年度)
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	
常勤	1	1					支給対象者 (H29年度) —人
内、県退職者	1	1					
内、県職員							平均年齢 —歳
非常勤	6	6	2	2	7	7	
内、県退職者			1	1	2	2	平均報酬年額 (H29年度) —千円
内、県職員	1	1					
計	7	7	2	2	7	7	
内、県関係者	2	2	1	1	2	2	

※役員と職員を兼ねている者の人数は、役員と職員の両方に計上し、職員数には括弧(内数)で表示している。

②職員数(H30.4.1現在)※

(単位:人)

区分	H29	H30	正職員 平均年齢 49歳
正職員	2(1)	2(1)	
内、県退職者	1(1)	1(1)	
出向職員	1	1	平均勤続年数 2.0年
内、県職員	1	1	
臨時・嘱託		3	平均年収 (H29年度) 3,808千円
内、県退職者			
計	6(1)	6(1)	
内、県関係者	2(1)	2(1)	

③理事会回数

平成28年度	3	平成29年度	4
--------	---	--------	---

4 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度
経常収益	44,358	36,786
基本財産・特定資産運用益	25,521	25,516
受取会費・受取寄附金	431	919
受託事業収益	16,373	7,532
自主事業収益	29	29
受取補助金・受取負担金	2,004	2,790
その他の収益		
経常費用	40,077	34,921
事業費	31,033	24,750
管理費	9,044	10,171
人件費(事業費分含む)	15,069	18,131
当期経常増減額	4,281	1,865
経常外収益		
経常外費用		
当期経常外増減額	0	0
当期一般正味財産増減額	4,281	1,865
当期指定正味財産増減額		
当期正味財産増減額合計	4,281	1,865

②貸借対照表

(単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度
流動資産	20,639	21,600
固定資産	1,216,745	1,218,069
資産計	1,237,384	1,239,669
流動負債	514	935
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	514	935
指定正味財産	1,201,254	1,201,254
うち基本財産充当額	975,254	975,254
一般正味財産	35,616	37,480
うち基本財産充当額		
正味財産計	1,236,870	1,238,734
負債・正味財産計	1,237,384	1,239,669

(単位:千円)			
退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)

※中小企業退職金共済事業へ加入している。

<主な経営指標>

項目	算式	平成28年度	平成29年度	H28-29増減※
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	110.7%	105.3%	△5.3
流動比率	流動資産÷流動負債×100	4015.4%	2310.2%	△1705.2
自己資本比率	正味財産計÷負債・正味財産計×100	100.0%	99.9%	△0.0
有利子負債比率	有利子負債÷正味財産計×100			

※端数処理の関係で増減が一致しないことがある。

5 県の財政的関与の状況

(単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金	1,688	1,688	海外移住者支援事業
委託費	16,373	7,532	外国人相談センター運営事業、ロシア青少年交流事業、甘肅省技術研修員受入事業、南米ネットワーク構築事業、沿海地方専門家受入事業、天津市青少年友好交流事業
指定管理料			
年度末残高			
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)	226,000	226,000	特定資産

**I 自己評価**

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 『第2期プラン』における施策の方向性の1つである「海外との交流や県民の国際理解の促進」を業務としており、公共的役割を果たしている。	B これまで無期雇用の正職員がいなかったが、平成28年度に正職員を1名雇用したことにより、今後は継続性・専門性が重要な事業のより確実な実施が期待される。	A 「あきた国際フェスティバル」や人材育成のための研修会実施など、事業は確実に行われている。「顧客満足度指数」も目標指数を満たしている。	A 一般正味財産は収支が均衡している。現在財務状況は安定しているが、受託事業収入の減少や臨時職員雇用による人件費の増加に備え、今後も継続してコスト管理を行う。

**II 所管課評価**

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 県とともに本県の国際化を総合的に推進する中核的な組織としての役割を担っており、『第2期ふるさと秋田元気創造プラン』の施策に基づく事業を実施している。	B 常務理事の事務局長兼務及び事務局次長の県職員派遣により、法人運営及び事業実施が確実に遂行できる体制が相当程度整備されている。正職員の配置により、事業の安定性、効率性が改善されている。	A 事業は確実に行われており、講座受講者数、AIAサポーター数、顧客満足度指数全てにおいて、目標を達成している。	A 一般正味財産は経常収益が経常費用を上回っている。また、出捐金（基本財産及び特定資産）の取崩しはないほか、県からの運営費補助、貸付も行っていない。

**III 外部専門家のコメント**

国債・地方債等の運用益で、安定的に収益を計上することができる。県からの委託費によって、収入合計は左右されるが、今年度は受託料収益が減少したため、減収となった。人件費は増加したものの、受託料収益減少に伴う海外旅費交通費等の減少で、事業費全体も減少しており、経常黒字を継続している。現状では収支の構造上、大幅な赤字になることは考えにくく、一般正味財産も増加傾向にあるため、財務基盤は安定しているといえる。事業目標は毎年大幅にクリアしているの、積極的により高めの目標を設定してもいいのではない。

**IV 委員会評価**

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セクの行動計画上は「県が実施すべき事業を主たる事業とする法人」に位置づけられている。「あきた国際化推進プログラム」における国際化の推進拠点として各種事業を実施しており、県の施策における協働事業体としての役割は大きい。	B 常勤の役職員がおり、組織運営上の体制が整っていると認められる。	A 設定した事業目標はすべて達成している。引き続き、AIAサポーターの確保など、国際理解の促進や多文化共生推進のための事業の実施が期待される。	A 経常黒字を継続しており財務基盤は安定している。引き続き、公益目的事業の積極的な実施が期待される。

**V 前年度委員会評価**

1 公共的役割	A	2 組織体制	B	3 事業実施	A	4 財務状況	A
---------	---	--------	---	--------	---	--------	---

評価結果を受けて実施した経営健全化に向けた取組（概要）

- ・AIAサポーター登録者数については、在住外国人などサポーターになりうる人材発掘を行ったほか、主催事業の参加者へサポーター制度の周知を図る等登録者数の増加に積極的に取り組んだことから、目標を達成することができた。
- ・正職員採用に伴う人件費の増加に備え、業務の効率化による経費節減を図り、一層のコスト管理に努めた。